

報道関係者各位

2025年8月7日

大阪・関西万博で東海道新幹線再生アルミのブース展示に参画 ～環境負荷低減への取り組みを発信～

直富商事株式会社（本社：長野県長野市大豆島3397-6、代表取締役：木下繁夫）は、東海旅客鉄道株式会社（本社：愛知県名古屋市、代表取締役社長：丹羽俊介）が「2025年日本国際博覧会」（以下「大阪・関西万博」）のフューチャーライフヴィレッジ・「TEAM EXPOパビリオン」において実施する、東海道新幹線再生アルミ（以下「新幹線再生アルミ」）の環境優位性や将来性などを体感できるブース展示に参画します。

フューチャーライフヴィレッジは人が主役のパビリオンであり、様々な参加者が「未来の暮らし」、「未来への行動」をコンセプトとする多種多様な「問い」と「提案」を持ち寄ることで、参加者同士や来場者との対話が生まれ、未来社会はどんな姿かをみんなで考え、共に創り出していく共創（co-create）を実現する場です。

このエリアの展示の一つである「TEAM EXPOパビリオン」は、展示者自身が「主人公」となり、「未来への行動」を宣言することで、展示者と来場者が「対話」し、未来社会の実現に向けた新たな「共創」を生み出すことを目的としています。

当社は東海道新幹線から発生した再生アルミ用の母材の加工・精製を担当していることから、本展示に参画させていただく事といたしました。

直富商事では、あらゆる事業活動や消費生活により生じる各種廃棄物及び資源のリサイクル・処理、サポートを幅広く行っております。

鉄非鉄スクラップ・レアメタルを始めとする金属類の他、プラスチック・紙等々あらゆる資源のリサイクルを行うと共に、産業廃棄物から高品位の固形燃料（RPF）の製造、食品廃棄物から肥料・飼料の製造、廃食用油から高純度バイオディーゼル燃料の製造まで行う等、脱炭素社会実現のためにできる事を日々実践してまいります。

【展示概要】

- (1) タイトル 「サーキュラーエコノミーの実現へ：東海道新幹線再生アルミの挑戦」
- (2) 日時 2025年8月29日(金)～31日(日) ※各日10:00～21:00
- (3) エリア フューチャーライフヴィレッジ・「TEAM EXPOパビリオン」（万博会場内）

ぜひ会場に足を運び、再生素材の可能性と環境への新たなアプローチをご体感ください。

《プレスリリースについてお問合せ》

直富商事株式会社 コンプライアンス・広報部 Tel：026-222-1880

ブース展示の概要

① 新幹線再生アルミのコンセプトや開発プロセスの紹介ブース

新幹線再生アルミのコンセプトや開発プロセスを実際の工程風景を用いて分かりやすく解説した動画や、新幹線再生アルミの原材料の展示を行います。



実際のリサイクル工程を含む
貴重なオリジナル動画



新幹線再生アルミの原材料
(左：車体側面、右：アルミ破材)

② 新幹線再生アルミの活用事例やアルミ素材の特性を体験できるブース

新幹線再生アルミを活用した建材や日常用品など多種多様な製品の展示や、アルミの性質を理解できる体験型展示、VR（バーチャルリアリティ）を用いたアルミ工場見学体験等を実施します。



新幹線再生アルミの活用製品
(左：ギター、右：建材)

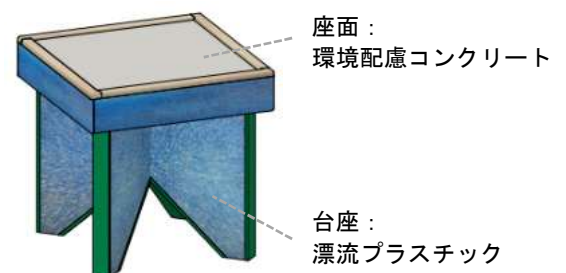
体験型展示
(素材の重さ比較)

③ サーキュラーエコノミーやSDGsについて事例を交えて学べるブース

そもそもサーキュラーエコノミーやSDGsとは何か、新幹線再生アルミの生成時に生じる副産物を活用して作った環境配慮コンクリートなどの事例を交えながら解説します。



サーキュラーエコノミーについて
図解で理解できるオリジナル動画



環境配慮コンクリート
(椅子型に加工して展示予定)